

～平成26年度主要施策～

第5次総合計画将来像

清流木曾川に抱かれた“ひと・まち・自然”輝く創造文化都市

① 安心して防災に強いまちづくり

生命と財産を守る災害に強いまちづくりを進め、地域と連携した防災体制の強化を図ります。

新規事業

庁舎耐震補強・改修工事

5億7,190万円

災害発生時に重要な活動拠点となる庁舎の耐震補強工事を行い、迅速な救援、救護体制を確立できるようにします。また、老朽化が目立つ設備の改修工事も併せて行い、住民の皆様が安全かつ便利に使用してもらえるようにします。

地域防災力向上事業

32万円

防災力向上が期待される「防災士」の育成支援を行い、また防災減災の専門家による講演会やワークショップなどを自主防災会と協働開催し、減災と地域の防災力向上を図ります。

消防団活動事業

3,186万円

地域防災の中核となる消防団の体制強化と、老朽化した消防車両を新たに更新します。

地籍調査事業

40万円

大規模災害発生時の復旧の迅速化に繋がる、地籍調査を開始するため、基本計画を策定します。

排水路改良事業

4,904万円

ゲリラ豪雨などの水害対策として、平成24年より進めている笠松町流域関連公共下水道雨水計画を継続させ、雨水貯留施設の実施設計を行います。



耐震診断・改修助成事業

665万円

一般木造住宅の耐震診断・改修工事の助成に加え、非木造住宅に対する耐震診断助成も行います。

防災備品管理事業

578万円

避難所運営に必要な大型扇風機、避難所マット、段ボール間仕切りや簡易トイレなどを各学校体育館に配備します。